

田城(光星)種市(工大)プロ志望届



田城 飛翔

今夏の全国高校野球選手権青森大会で優勝した八学光星の田城飛翔外野手(3年)と、同大会で準々決勝に進出した八工大一の種市篤暉投手(同)が9日までに、プロ入りを志望する選手に義務づけられている「プロ野球志望届」を日本高野連に提出した。両校の硬式野球部監督が本紙取材に明らかにした。近く日本高野連のホームページに掲載される見通し。2人は10月20日に行われるプロ野球ドラフト会議の指名対象となる。

田城外野手は神奈川・大住中出身。打の中心選手として八学光星を全国選手権に導き、同大会1回戦の市尼崎(兵庫)戦では延長十回に決勝打を放った。身長178センチ、72キロ。右投げ左打ち。種市投手は三沢二中出身。最速145キロ超の直球、キレのあるスライダーストフォークを武器に、主戦として活躍した。身長183センチ、83キロ。右投げ右打ち。(山口拓郎)

秀岳館九鬼からも提出

日本高野連は9日、今年の甲子園大会で春夏連続4強の秀岳館(熊本)から九鬼隆平捕手、松尾大河内野手、天本昂佑外野手が新たにプロ志望届を提出したと連盟ホームページ上で公表した。春夏連続出場した創志学園(岡山)の好右腕、高田萌生投手も提出した。